

平成 25 年度高知県災害医療情報伝達訓練

1 訓練概要

(1) 日時

日時：平成 26 年 1 月 16 日（木）13:30～16:00

(2) 目的

- ①災害発生時の報告・要請の流れの把握（医療救護活動の状況、医療従事者の派遣要請、重症患者の受入要請、医薬品等の要請）
- ②こうち医療ネットの操作方法の習熟
- ③衛星携帯電話、防災行政無線電話の操作方法の習熟

(3) 参加機関

県医療本部、県医療支部（6）、市町村（34）、高知県医師会、高知県薬剤師会、高知県看護協会、災害拠点病院（10）、救護病院（53）、その他 E M I S 登録医療機関（73）

2 訓練内容

高知県災害時医療救護計画に基づいて、地震発生から 4 時間後（9 時発災したと想定）の医療救護活動に関する報告や要請を防災行政無線 F A X や衛星電話を用いて行い、要請を受けた機関は調整と応諾を実施。

併せて、医療機関はこうち医療ネットに被災状況を入力。

3 訓練評価

(1) 災害発生時の報告・要請の流れの把握について

- ・ほとんどの機関が災害時医療救護計画で定められた経路での報告・要請を実施できた。
- ・県医療本部では、要請に対する本部内での情報の取扱や役割分担の不徹底のため、調整や要請元への応諾の連絡ができないケースがあった。
- ・要請・応諾の共通様式の記入欄の記入漏れや手書きのため判読できない文字があった。

(2) こうち医療ネットの操作方法の習熟

- ・こうち医療ネットに入力があった機関：111 医療機関
- ・こうち医療ネットに入力がなかった機関：24 医療機関
- ・訓練当日、こうち医療ネットへの入力ができる者があらず、訓練に参加できないと報告してきた医療機関が数カ所あった。

(3) 衛星携帯電話、防災行政無線の操作方法の習熟

- ・衛星携帯電話を使用できる職員が増えた。
- ・医療支部によっては防災行政無線（F A X）の受信速度が遅く、情報処理や応諾が遅れる要因となった。

4 今後の課題

(1) 県医療本部内の指揮命令システムの再確認が必要。

- ・各班の役割分担の明確化。
- ・要請や応諾を本部内でどのように伝達するのかを明確化する。

(2) よりスムーズな報告、要請、応諾を行うための資機材の整備が必要。

- ・防災行政無線の回線が少ない場合、F A X が集中すると、受信速度が遅くなるので、回線の拡大の検討。
- ・衛星携帯電話を使用した F A X の活用を検討する。
- ・様式への記入を簡略化し、(医薬品名は対応する共通番号で管理するなど)、記入漏れや判読しづらい文字がないようにする。
- ・被災状況の報告は F A X ではなく、こうち医療ネットを活用する。

(3) 各機関において災害時の情報の流れやこうち医療ネットの操作に通じた者を育成することが必要。

- ・県から医療機関に対して、こうち医療ネットの操作方法等の周知文書の配布を行う。
- ・県医療支部や市町村単位で訓練や研修を定期的開催する。